

ANOMALY

〒140-0002 東京都品川区東品川 1-33-10 Terrada Art Complex 4F
tel & fax +81(0)3-6433-2988
info@anomalytokyo.com
www.anomalytokyo.com

2022/8/25



Chim ↑ Pom from Smappa!Group

卯城竜太・林靖高・エリイ・岡田将孝・稲岡求・水野俊紀により、2005年に東京で結成されたアーティストコレクティブChim ↑ Pom。時代のリアルを追究し、現代社会に全力で介入したクリティカルな作品を次々と発表。世界中の展覧会に参加するだけでなく、独自でもさまざまなプロジェクトを展開する。

広島や福島などの被曝のクロニクルに対し、様々な当事者意識でリアクションをし、メディアを巻き込んだ議論を続発。帰還困難区域内では、封鎖が解除されるまで「観に行くことができない」長期にわたる国際展「Don't Follow the Wind」の発案と立ち上げを行い、作家としても参加、2015年にオープンし、いまま開催中。

2016-17年、「境界線」の機能と個の自由や関わりをテーマに、メキシコとアメリカの「壁」にアプローチ、国境沿いに「U.S.A visitor center」としてのツリーハウスを建設。移民や国境問題に介入。

また結成当初より、「個と公」を表象した「都市論」をテーマに、さまざまなプロジェクトを公共圏で展開。毒に耐性を持つネズミを捕獲する「スーパーラット」(2006~)、上空にカラスを集めて誘導する「Black Of Death」(2008.2013)、メンバーのエリイの結婚式をデモとして路上で行った「Love Is Over」(2013)などの他、自らのアーティストラン・スペースに公共のあり方を実践する「道」自体を敷地内に取り込んだ「Chim ↑ Pom通り」(2016~)など、ストリートの可能性を拡張してきた。

2017年、台湾で開催されたアジアン・アート・ビエンナーレでは、公道から美術館内にかけて、200mの道「Chim ↑ Pom Street」を敷き、公私を超えた独自のレギュレーションを公布、ブロックパーティやデモの場となり、伝説となる。2018年には、東京オリンピックに伴う再開発の中で、建て壊される直前の歌舞伎町のビルで制作したプロジェクト「にんげんレストラン」を発表。様々な人々と場所性が混じり合うライブなアートイベントとして、社会にスポンティニアスな生き方を提示し、大きな影響を与えた。

ほかにも大量消費・大量廃棄による環境問題や、メンバーの人生自体をテーマにした作品などにも取り組んできた。多くのプロジェクトを一過性のものとして消費せず/させず、書籍の刊行などによって議論の場やアーカイブを独自に創出。膨大なニュースの中で埋もれそうになってしまう事象への警鐘として、プロジェクトをさまざまな形に変容させながら継続している。

また同時代を生きる他のアーティストたちや様々なジャンルの展覧会やイベントの企画など、キュレーションも積極的にを行い、アーティストの在り方だけでなく「周縁」の状況を変容、拡大させている。

そのプロジェクトベースの作品は、日本の美術館だけでなくグッゲンハイム美術館、ポンピドゥー・センターなどにコレクションされ、アジアを代表するコレクティブとして時代を切り開く活動を展開中。

2022年4月、Chim ↑ Pom from Smappa!Groupに改名。

ANOMALY

〒140-0002 東京都品川区東品川 1-33-10 Terrada Art Complex 4F
tel & fax +81(0)3-6433-2988
info@anomalytokyo.com
www.anomalytokyo.com

個展

- 2022 「いつのことだか思い出してごらん」 無人島プロダクション、東京
「Chim ↑ Pom from Smappa!Group」 ANOMALY、東京
「Chim ↑ Pom from Smappa!Group展：ハッピースプリング」 森美術館、東京
- 2020 「May, 2020, Tokyo / A Drunk Pandemic」 ANOMALY、東京
- 2019 「Threat of Peace (広島!!!!!!)」 Art in General、ニューヨーク
- 2018 「グランドオープン」 ANOMALY、東京
「日本のアートは」 NADiff a/p/a/r/t、東京
「Why Open?」 White Rainbow、ロンドン
- 2017 「Non-Burnnable」 ダラスコンテンポラリー、アメリカ
「Sukurappu ando Birudoプロジェクト 道が拓ける」 キタコレビル、高円寺、東京
「The Other side」 無人島プロダクション、東京
- 2016 「また明日もまた観てくれるかな? ~So see you again tomorrow, too?~」
歌舞伎町商店街振興組合ビル、東京
- 2015 「Super Rat」 Saatchi Gallery、ロンドン
「耐え難きを耐え、忍びがたきを忍ぶ」 Garter Gallery、東京
- 2014 「ヤジルシソピエトル~ChimとPomのパラドックス」 無人島プロダクション、東京
「エレクトリカルパレードで満足したことは一度もない」
hiromiyoshii roppongi、東京
- 2013 「広島!!!!!!」 旧日本銀行広島支店、広島
「Chim ↑ Pom × 叢-Qusamura 『広島!!!!!!展』 準備展! @ホットスポットギャラリー
hiromiyoshii roppongi Window Gallery、東京
「“広島!!!!!!展”準備展!」 広島市内ホットスポットギャラリー
「PAVILION」 岡本太郎記念館、東京
- 2012 「Chim ↑ Pom」 パルコミュージアム、東京
「Beautiful World: SURVIVAL DANCE」 PROJECT FULFILL ART SPACE、台北
- 2011 「LEVEL 7 feat. 『広島!!!!!!』」 原爆の図丸木美術館、埼玉
「Chim ↑ Pom」 (スクリーニング) MoMA PS1、ニューヨーク
「K-I-S-S-I-N-G」 The Container、東京
「SURVIVAL DANCE」 無人島プロダクション、東京
「REAL TIMES」 無人島プロダクション、東京 (スタンダードブック大坂へ巡回)
- 2010 「imagine」 無人島プロダクション、東京
- 2009 「FujiYAMA, GEISHA, JAPAnEse!!」 無人島プロダクション、東京

ANOMALY

〒140-0002 東京都品川区東品川 1-33-10 Terrada Art Complex 4F
tel & fax +81(0)3-6433-2988
info@anomalytokyo.com
www.anomalytokyo.com

- 「にんげんていいな」 山本現代、東京
「広島!!」 NADiff a/p/a/r/t、東京
「捨てられたちんぽ」 ギャラリー・ヴァギナ(a.k.a. 無人島プロダクション)、東京
「広島!」 Vacant、東京
2008 「オーマイゴッド～気分はマイアミビーチ～」 無人島プロダクション、東京
「友情か友喰いか友倒れか/BLACK OF DEATH curated by 無人島プロダクション」
hiromiyoshii、東京
「日本のアートは10年おくられている」 NADiff a/p/a/r/t、東京
2007 「サンキューセレブプロジェクト アイムボカン」 無人島プロダクション、東京
「オーマイゴッド」 無人島プロダクション、東京
2006 「スーパー☆ラット」 無人島プロダクション、東京

グループ展

- 2022 「釜山ビエンナーレ 2022: WE, ON THE RISING WEVE」 釜山、韓国
「2022 Contemporary Art Exhibition: Art and Peace」 Ulsan Art Museum、蔚山、韓国
「アジアギャラリー 『時代の風景・時代の肖像+++』」 福武ハウス、小豆島、香川
「NEVER GIVE UP! 坪井直さんと共に -deepest sympathy-」 gallery G、広島
2021 「やんばるアートフェスティバル 2021-2022」 大宜味村立旧塩屋小学校、沖縄
「HERE AND NOW at Museum Ludwig: together for and against it」 ルートヴィヒ美術館、ケルン、ドイツ
「MOTコレクション - Journals 日々、記す vol.2」 東京都現代美術館、東京
「『新しい成長』の提起 - ポストコロナ社会を創造するアーツプロジェクト」 東京藝術大学大学美術館 本館、東京
「2021 ACC Gwangju & Asian Artists Exhibition」 Asia Culture Center, ACC Creation, Space 6、光州、韓国
「TOKYO: ART & PHOTOGRAPHY」 アシュモレアン博物館、オックスフォード
「Breaking the Waves」 chi K11 art museum、上海、中国 (K11 広州、香港に巡回)
「MOTコレクション - Journals 日々、記す」 東京都現代美術館、東京
「MONUMENTS」 <http://www.fineprintmagazine.com/>
「MOMATコレクション」 東京国立近代美術館、東京
「3.11 とアーティスト: 10年目の想像」 as Don't Follow the Wind、水戸芸術館、茨城
「まちへ出よう展～それは水の波紋から始まった～」 ワタリウム美術館、東京
「平成美術:うたかたと瓦礫(デブリ) 1989-2019」 京都市京セラ美術館、京都

ANOMALY

〒140-0002 東京都品川区東品川 1-33-10 Terrada Art Complex 4F
tel & fax +81(0)3-6433-2988
info@anomalytokyo.com
www.anomalytokyo.com

- 2020 「時代の風景・時代の肖像 — ベネッセアートサイト直島のアジアコレクションを中心に」
福武ハウス アジア・ギャラリー、香川
「かんじんなことは、目に見えない」 にしびりかの美術館、宮城
「Sight Unseen – Forking Paths in the CHAT Collection」 CHAT、香港
「GLOBAL(E) RESISTANCE」、ポンポドゥ・センター、パリ、フランス
「Art at a Time Like This?」 <https://artatatimelikethis.com/>
- 2019 「Co/Inspiration in Catastrophe」 MOCA Taipei、台湾
「Japan Unlimited」 frei_raum Q21 exhibition space、ミュージアムクォーター、ウィーン、オーストリア
「あいちトリエンナーレ 2019 情の時代/表現の不自由展・その後」
愛知芸術文化センター、愛知
「Manchester International Festival」 ヴィクトリア駅トンネル、マンチェスター、イギリス
「The Street. Where the World Is Made」 MO.CO.Panacée、モンペリエ、フランス
「Fragments of a Hologram Rose」 SANATORIUM、イスタンブール
「52 ARTISTS 52 ACTIONS」 ART SPACE、シドニー
「百年の編み手たち—流動する日本の近現代美術—」 東京都現代美術館、東京
「移植」 無人島プロダクション、東京
「Dirty Protest: Selections from the Hammer Contemporary Collection」 ハマー美術館、ロサンゼルス
「Oh! マツリ☆ゴト 昭和・平成のヒーロー&ピーポー」 兵庫県立美術館、神戸、兵庫
「Deadly Affairs」 as Don't Follow the Wind、Kunsthal Extra City、アントワープ、ベルギー
- 2018 「THE STREET. WHERE THE WORLD IS MADE」
イタリア国立 21 世紀美術館、ローマ
「Athens Biennale 2018」 TTTビル、アテネ、ギリシャ
「にんげんレストラン」 旧歌舞伎町ブックセンタービル、東京
「六本木ヒルズ・森美術館 15 周年記念展 カタストロフと美術のちから展」 森美術館、東京
「MAMコレクション 008：会田誠とChim ↑ Pomのカラス」 森美術館、東京
「越境するミュージアム」 クシノテラス、福山、広島
「そとのあそび展〜ピクニックからスケートボードまで〜」 市原湖畔美術館、千葉
「Declaration」 コンテンポラリー・アート・インスティテュート、バージニア・コモンウェルス大学、リッチモンド、アメリカ
「Soul Mining」 ヴィンセントプライス美術館、ロサンゼルス
「ビオクラシー 〜"途方もない今"の少し先へ」 はじまりの美術館、福島
「LOVE Long: Robert Indiana and Asia」 アジアソサエティー、香港
「江原国際ビエンナーレ 2018：悪の辞典」 as Don't Follow the Wind、

ANOMALY

〒140-0002 東京都品川区東品川 1-33-10 Terrada Art Complex 4F
tel & fax +81(0)3-6433-2988
info@anomalytokyo.com
www.anomalytokyo.com

江陵グリーン都市体験センター E-Zen、江陵市、韓国

「I Say Yesterday, You Hear Tomorrow. Visions from Japan」 as Don't Follow the Wind、Luciano Benetton Collection、トレヴィーゾ、イタリア

「Hot Spots: Radioactivity and the Landscape」 as Don't Follow the Wind、University Buffalo Art Gallery、アメリカ

「MKH Biennale」 as Don't Follow the Wind、Former Central Federal State Bank Halberstadt、ドイツ
「52 artists 52 actions」 インスタグラム

2017 「Photomutagenesis」 The Laboratory Hotel、チェンマイ、タイ

「JAPANORAMA: NEW VISION ON ART SINCE 1970」 ポンピドーウ・センター・メッス・ギャラリー2&3、パリ

「6th Asian Art Biennial 2017」 国立台湾美術館、台中、台湾

「Invisible Cities」 クロウ・アジア美術館、ダラス、アメリカ

「Soul Mining: The influence of Asian culture in Latin America」 アリゾナ州立大学美術館、アメリカ

「Reenacting history_ Collective Actions and Everyday Gestures」 国立現代美術館、韓国

「リヨンビエンナーレ 2017」 la Sucrière and the macLYON、フランス

「SHARE / CHEAT / UNITE」 The Physics Room、ニュージーランド

「黄金町バザール 2017」 京急線「日ノ出町駅」から「黄金町駅」間の高架下
スタジオ、周辺のスタジオ、既存の店舗、屋外、他

「Reborn-Art Festival 2017」 宮城県石巻市（牡鹿半島、市内中心部）

「コレクション展2 死なない命」 金沢 21 世紀美術館、日本

「IMPACT17」 PACT Zollverein、ドイツ

「高橋コレクション・マインドフルネス 2017」 山形美術館

「Fast Forward Festival 4」 as Don't Follow the Wind、Classical Acropol Hotel Athens、アテネ

「If only radiation had color. The Era of Fukushima (Proposition 3: Future Infrastructure)」 as Don't Follow the Wind、X and Beyond、コペンハーゲン

「La Movida」 HOME、マンチェスター、イングランド

「In the Presense of Others」 Korean Cultural Centre、ニューデリー、インド

「Chim ↑ Pom劇場」 SHIBAURA HOUSE、東京

「IMPACT 17」 (パフォーマンス) PACT Zollverein、エッセン、ドイツ

「Art in the Bar」 香港

「A Walk in Fukushima」 as Don't Follow the Wind、Arts Catalyst Centre、ロンドン

「ヨコハマトリエンナーレ 2017」 as Don't Follow the Wind、横浜美術館／横浜赤レンガ倉庫 1 号館／
横浜市開港記念会館地下、他

「The New Networked Normal (NNN): Don't Follow the Wind、A Walk in Fukushima」

ANOMALY

〒140-0002 東京都品川区東品川 1-33-10 Terrada Art Complex 4F
tel & fax +81(0)3-6433-2988
info@anomalytokyo.com
www.anomalytokyo.com

バルセロナ現代文化センター、バルセロナ

「AND Festival」 as Don't Follow the Wind、キャッスルトン、イギリス

2016 「フクシマ美術」 kunst tarzt、京都

「南京国際美術展」百家湖美術館、南京、中国

「高橋コレクション マインドフルネス！2016」高知県立美術館、高知

「釜山ビエンナーレ 2016 Project 1 an/other avant-garde china-japan-korea」釜山市立美術館、釜山

「THE HUBRIS PROJECT」ACC Galerie Weimar、ワイマール、ドイツ

「Works 2016」S-HOUSE Museum、岡山

「KAUPUNGISTUMISEN HEIJASTUMIA : SHADES OF URBANIZATION」ポリ美術館、フィンランド

「Special Summer Show - EDITIONS++」無人島プロダクション、東京

「蜘蛛の糸」豊田市美術館、愛知

「ようこそ日本へ：1920 - 30 年代のツーリズムとデザイン」国立近代美術館、東京

「Beijing Media Art Biennale 2016」 as Don't Follow the Wind、中央美術学院美術館、北京

「MATTER FICTIONS」 as Don't Follow the Wind、ベラルド現代近代美術館、リスボン、ポルトガル

「20th Biennale of Sydney」 as Don't Follow the Wind、シドニー

「Perpetual Uncertainty」 as Don't Follow the Wind、Bildmuseet、ウメオ、スウェーデン

2015 「新収蔵品展」豊田市美術館、愛知

「2015 aasn exhibition-weaving the asian democracy」国立アジア文化殿堂、韓国

「東京アートミーティングVI "TOKYO" - 見えない都市を見せる」東京都現代美術館、東京

「Embodied」NIKOLAJ KUNSTHAL、コペンハーゲン

「Risk」ターナー・コンテンポラリー、マーゲート、イギリス

「Don't Follow The Wind : Non- Visitor Center」ワタリウム美術館、東京

「メッセージズ - 高橋コレクション」十和田市現代美術館、青森

「3rd Ural Industrial Biennial」エカテリンブルグ、ロシア

「古今東西 100 人展: アイラブアート 13 ワタリウム美術館コレクション」ワタリウム美術館、東京

「THE HUBRIS-PROJECT」HALLE 14、ライプチヒ、ドイツ

「by the mountain path」White Rainbow、ロンドン

「高橋コレクション展: ミラーニューロン」東京オペラシティ、東京

「Re:TOWER OF SUN EXBIT みんなで太陽の塔展」梅田ロフト、ロフトフォーラム、大阪

「Hong Kong Arts Centre 3rd Annual Collectors' Contemporary Collaboration」香港芸術センター、香港

「TRANSLATION THEME PARK」ウプサラ美術館、スウェーデン

「Don't Follow the Wind」東京電力福島第一原子力発電所事故による帰還困難区域内、福島

「The Radiants」 as Don't Follow the Wind、BORTOLAMI X GREEN TEA GALLERY、ニューヨーク

ANOMALY

〒140-0002 東京都品川区東品川 1-33-10 Terrada Art Complex 4F
tel & fax +81(0)3-6433-2988
info@anomalytokyo.com
www.anomalytokyo.com

「BIOSPHERE」 「Prospectif cinema」 ポンピドゥー・センター、パリ
「Prudential Singapore Eye」 アートサイエンス・ミュージアム、シンガポール
「MOMAT コレクション：誰がためにたたかう？」 東京国立近代美術館、東京
「高松メディアアート祭 The Medium of the Spirit-メディアアート紀元前-」 as Don't Follow the Wind、
高松

- 2014 「Forces at Work」 UP Vargas Museum、フィリピン
「Asian Art Biennale Bangladesh 2014」 バングラデシュ・シルパカラ・アカデミー、バングラデシュ
「COSMOS」 上海二十一世紀民生美術館、上海
「TURN／陸から海へ（ひとがはじめからもっている力）」 鞆の津ミュージアム、福山、広島
「Zero Tolerance」 MOMA PS1、ニューヨーク
「TRANSLATION THEME PARK」 Galleri 21 & Galleri Ping-Pong Malmö、スウェーデン
「EAST ASIAN VIDEO FRAMES: TOKYO」 ポリ美術、フィンランド
「Politika」 Upper Space Gallery、マンチェスター、イギリス
「For a New Wave to Come Post-1945 Japanese Art History Now」 Japan society、ニューヨーク
「We can make another future: Japanese art after 1989」 クイーンズランド美術館、オーストラリア
「The Mirror and Monitor of Democracy in Asia」 Sangrok Exhibition Hall、光州市立美術館、韓国
「無人島プロダクション 8 周年記念展「無人島∞」 無人島プロダクション、東京
「牛窓・亜細亜藝術交流祭」 岡山
「アクチニウム展覧会 SIAF Collaborative programme 2014」 OYOYOまち×アートセンターさっぽろ、
札幌
「Duality of Existence - Post Fukushima | A group exhibition of Contemporary Japanese Art 」Friedman
Benda、ニューヨーク
「開館 20 周年記念 MOT コレクション特別企画 クロニクル 1995-」 東京都現代美術館、東京
「MOMAT コレクション 特集 地震のあとで：東北を思うIII」 東京国立近代美術館、東京
「マインドフルネス！高橋コレクション展」 名古屋市美術館、名古屋
「Utopian Days - Freedom」 TOTAL MUSEUM OF CONTEMPORARY ART、ソウル、韓国
「Tomorrow Comes Today」 デジタルアート、国立台湾美術館、台中、台湾
「DOMMUNE university of the Arts -Tokyo Arts Circulation-」 3331ArtsChiyoda、東京
「RedBul Music Academy」 東京
「Parallel Universes」 上海二十一世紀民生美術館、上海
「Godzilla」 Silvershed、ニューヨーク、アメリカ
「Actinium Project SIAF Collaborative programme 2014」 OYOYO、札幌
- 2013 「global aCtIVISm」 カールスルーエ・アート・アンド・メディア・センター、カールスルーエ、ドイツ

ANOMALY

〒140-0002 東京都品川区東品川 1-33-10 Terrada Art Complex 4F
tel & fax +81(0)3-6433-2988
info@anomalytokyo.com
www.anomalytokyo.com

- 「Atomic Surplus」 CCA Muñoz Waxman Galleries、ニューメキシコ、アメリカ
- 「Now Japan; Exhibition with 37 contemporary Japanese artists」 Kunsthal KAdE、オランダ
- 「adidas Originals PRESENTS BETTER NEVER THAN LATE」 小太刀製作所跡地、東京
- 「高橋コレクション——マインドフルネス!」 札幌芸術の森美術館、札幌
- 「InToAsia: Time-based Art Festival 2013 – MicroCities」 Stephan Stoyanov Gallery、ニューヨーク
- 「アートがあればII — 9人のコレクターによる個人コレクションの場合」東京オペラシティ アートギャラリー、東京
- 「高橋コレクション—マインドフルネス」 霧島アートの森、鹿児島
- 「MOTコレクション ぼくからきみへ —ちかくてとおいたび—」 東京都現代美術館、東京
- 「LOVE展」 森美術館、東京
- 「シブカル祭。2013～フレフレ! 全力女子!～」 渋谷PARCO、東京
- 2012 「3.11 とアーティスト:進行形の記録」 水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城
- 「第9回上海ビエンナーレ:REACTIVATION」 上海当代芸術博物館、中国
- 「Project Daejeon 2012: Energy」 テジョン市立美術館、韓国
- 「ソリエリュミエール、そして叡智」 金沢21世紀美術館、石川
- 「Get Up, Stand Up」 シアトル美術館
- 「歴史の天使-アイ・ラブ・アート 12 写真展」 ワタリウム美術館、東京
- 「ひっくりかえる—Turning Around—」 (キュレーション: Chim ↑ Pom) ワタリウム美術館、東京
- 「Double Vision: Contemporary Art from Japan」 モスクワ市近代美術館 (ハイファ美術館、イスラエルに巡回)
- 「The Fire that Doesn't Go Out」 Richard D. Baron Gallery、オハイオ、アメリカ
- 「TPAM in Yokohama 2012」 BankART Mini、横浜
- 2011 「Life, no Peace, only Adventure」 釜山市立美術館、韓国
- 「Villa Tokyo」 京橋界限、東京
- 「シブカル祭。2011」 渋谷PARCO、東京
- 「CITY-NET ASIA 2011」 ソウル市立美術館
- 「Mildura Palimpsest #8 – Collaborators and Saboteurs」 Arts Mildura、ミルデュラ、オーストラリア
- 「Invisibleness is Visibleness: International Contemporary Art Collection of a Salaryman-- Daisuke Miyatsu」 台北当代芸術館
- 「Never give up!」 PASS THE BATON GALLERY、東京
- 「エルピスの空」 TOKYO DESIGNERS WEEK 2011(TDW-ART)、東京
- 2010 「第29回サンパウロビエンナーレ: There is always a cup of sea to sail in」 シッシロ・マタラッツォ・パビリオン、イビラプエラ公園、サンパウロ

ANOMALY

〒140-0002 東京都品川区東品川 1-33-10 Terrada Art Complex 4F
tel & fax +81(0)3-6433-2988
info@anomalytokyo.com
www.anomalytokyo.com

- 「Asia Art Award」 ソマ美術館、ソウル
- 「六本木クロッシング 2010:芸術は可能か?」 森美術館、東京
- 「リフレクション/映像が見せる“もうひとつの世界”」 水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城
- 「移動～無人島 in 高円寺での最初で最後のグループ展～」 無人島プロダクション、東京
- 2009 「ミイラっていいな」 山本現代、東京
- 「Spooky Action at a Distance: A Big In Japan exhibition of new videos from Japanese artists」 Black & Blue Gallery、シドニー
- 「A Blow to the Everyday」 Osage Kwun Tong、香港
- 「Urban Stories: The X Baltic Triennial of International Art」 Contemporary Art Centre [CAC]、ヴェリニウス、リトアニア
- 「Winter Garden: The Exploration of the Micropop Imagination in Contemporary Japanese Art」 ケルン日本文化会館、ケルン、ドイツ (21 カ国 32 カ所へ巡回)
- 「ウィンター・ガーデン:日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」 原美術館、東京
- 2008 「東京ナンセンス」 SCION Installation L.A.、ロサンゼルス
- 「KITAI!: Japanese Artists Meet Indonesia」 ジョグジャ・ナショナル・ミュージアム、ジョグジャカルタ、インドネシア
- 「ライフがフォームになるときー未来への対話/ブラジル、日本」 サンパウロ近代美術館、ブラジル
- 「ニュートキーヨーコンテンポラリーズ」 (marunouchi)HOUSE、東京
- 「DEATH BY BASEL」 Fredric Snitzer Gallery、マイアミ、アメリカ
- 2007 「感情の強盗 emotion burglar」 BankARTStudioNYK、横浜
- 「DAIWA RADIATOR FACTORY VIEWING ROOM vol.4」 大和ラジエーター製作所ビューイング・ルーム、広島
- 「Re-Act 新・公募展 2007」 広島市現代美術館、広島

キュレーション

- 2018 「にんげんレストラン」 旧歌舞伎町ブックセンタービル、東京
- 2017 「4th Fast Forward Festival」 での「Don't Follow the Wind」 展示、 クラシカルアクトルホテル、アテネ、ギリシャ
- 2016 「平井有太： Bioクラシー ～ BIOCRACY ～ 」 Garter Gallery、高円寺
- 「大江泰喜、会田誠： 原爆が 落ちる前 落ちた後」 Garter Gallery、高円寺
- 「Don't Follow the Wind at 20th Biennale of Sydney」 シドニー、オーストラリア
- 「涌井智仁展： Long,Long,Long」 Garter Gallery、高円寺
- 2015 「松田修展： 何も深刻じゃない」 Garter Gallery、高円寺

ANOMALY

〒140-0002 東京都品川区東品川 1-33-10 Terrada Art Complex 4F
tel & fax +81(0)3-6433-2988
info@anomalytokyo.com
www.anomalytokyo.com

「Don't Follow The Wind The Non-Visitor Center」ワタリウム美術館、東京
「園子温展：ひそひそ星」Garter Gallery、高円寺
2012 「ひっくりかえるーTurning Aroundー」ワタリウム美術館、東京

受賞

2015 「Prudential Eye Awards」 Best Emerging Artist of the Year (大賞)
「Prudential Eye Awards」 Best Emerging Artist Using Digital/Video
2007 「新・公募展 2007」 広島市現代美術館賞受賞(大賞)

パブリックコレクション

アートギャラリー・オブ・オンタリオ、カナダ
アジアソサエティ美術館、アメリカ
金沢 21 世紀美術館
クイーンズランド州立美術館、オーストラリア
国際交流基金
東京都現代美術館
東京国立近代美術館
豊田市美術博物館
ハマー美術館、アメリカ
森美術館
M+、香港
ポンピドゥ・センター国立近代美術館、フランス
Mill6 ファンデーション、香港

出版物

-書籍

2019 『We Don't Know God: Chim ↑ Pom 2005-2019』 ユナイテッドヴァガボンズ
2017 『都市は人なり』 スクラップアンドビルドプロジェクト(河出書房新社)
2015 『Don't Follow the Wind : 展覧会公式カタログ 2015』
(榎木野衣・Chim ↑ Pom・Don't Follow the Wind実行委員会 編、河出書房新社)
2014 『エリイはいつも気持ち悪い』 (朝日出版)
2012 『SUPER RAT』 (パルコ出版)
『アイデアインク 03 - 芸術実行犯』 (Chim ↑ Pom著、朝日出版)

ANOMALY

〒140-0002 東京都品川区東品川 1-33-10 Terrada Art Complex 4F
tel & fax +81(0)3-6433-2988
info@anomalytokyo.com
www.anomalytokyo.com

- 2010 『Chim ↑ Pom』 (河出書房新社)
- 2009 『なぜ広島のをピカッとさせてはいけないのか』
(Chim ↑ Pom・阿部謙一 編、発行：無人島プロダクション)
- DVD
- 2009 3rd DVD“Joy to Love”
- 2007 2nd DVD“The Making of Thank You Celeb Project – I’m BOKAN”